

平成 31 年度事業報告書

- 1 所在地 佐賀県伊万里市東山代町里字蕨野 359 番地 4
- 2 利用定員 就労継続支援 B 型 20 名
- 3 職員定数 11 名 (パート 4 名を含む)
常勤 1 名 10 月より産休
- 4 事業開始年月日 平成 31 年 4 月 1 日
- 5 事業運営報告
 - ・平成 31 年度は、利用者 2 名退所 (転居・体調不良)・2 名入院及び職員 1 名退職・1 名産休等により施設運営が厳しい 1 年でした。
 - ・菓子製造事業は、利用者・職員とも人員不足の為、売上目標達成も心配でしたが、4 月から放課後児童クラブのおやつが加わったので販売件数は少なくなりましたが前半は順調に伸び安心いたしました。後半 12 月までは多忙だったので売り上げも順調に伸び目標達成できたと思ったのも束の間、2 月からの新型コロナウイルスの影響でイベントもなくなり移動販売も難しく、売上高の追い上げはできませんでした。この状況に対処する為ホームページやフェイスブックを活用してテイクアウトの注文書を作成し、少しでも売上高を上げる為の努力をいたしました。
 - ・施設外就労は特定信書便配送・広報紙配送・議会だより配送は苦情・配送の誤り・事故等もなく安全に配送する事ができた。利用者も毎月目標を立て、職員と共に反省・評価を繰り返すことで自分の目標に向かって行動することで挨拶や対応もだいぶ良くなった。
 - ・利用者目標工賃の 30,000 円以上は 32,300 円で達成した。
(利用者平均工賃は昨年平均工賃 31,114 円が今年度 32,300 円にアップ、菓子売上目標 1,100 万円は 11,885,790 円で達成した)
 - ・相談支援事業は、現在 18 名の利用者・家族が相談、計画作成を行っている。
相談内容も複雑になり課題も多く大変になってきている。利用者・家族のニーズに沿った計画になるよう他の関連施設と連携しながら支援を行った。

引き続き施設利用料、送迎費用 (ガソリン代) を無料とし、利用者、保護者の負担をなく

した。

6 就労支援

通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供、その他就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行った。

7 生活支援

日常生活に必要な基本的習慣を身に着け、さらに自主性を養い毎日の積み重ねによって社会的適応性を育成し、地域生活が円滑に行えるような支援を目指した。

行事として4月花見・6月交流会旅行・10月焼肉会・事業所連絡協議会運動会・12月クリスマス会・1月新年会・2月事業所連絡協議会ボウリング大会を行った。利用者・職員・家族・小麦の家理事・評議員・ボランティアの皆様との交流を深める事ができた。文化・芸術面を高める為ふれあいコンサート・ふれあいステージによるダンスのステージ発表や障害者ふれあい文化祭において、今年度はストリングアートを作り、利用者 木須千晴様が努力賞になり、他の利用者も個性あふれる作品を作り芸術性を高めることができた。

8 施設運営管理

(1) 施設長以下職員の分担

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表 (別紙による)

(2) 防災計画

・原発事故・地震・津波・台風等大規模災害時の施設外避難体制 (別紙による)

(3) 訓練

・原発事故訓練・地震避難訓練・水害避難訓練・不審者防犯訓練・防火訓練・信書便の事故対応訓練を職員・利用者と共にを行った。(各訓練年一回合計6回行った。)

9 健康管理

- ・毎日通所後、その日の健康状況を把握する為検温を行った。
- ・2月健康診断を利用者は堀田病院で、3月職員は西田病院において行った。
- ・利用者・職員の健康管理として、フィットネスはなの吉武氏により毎月1回第3火曜日に健康教室を開催し、2ステップテストの測定・全身運動等を行い、その他の火曜日はDVDによる体操を職員・利用者で行った。測定表を個人別に比較して体力の変化を確認することが出来、体調管理に役立った。